

# はまだより

パナソニック松愛会  
横浜東支部／横浜西支部

2018年4・5月号 No.118  
ホームページ <http://www.shoai.ne.jp/yokohama/>

発行人 野口 彰  
編集人 小野喜一

## 5月26日(土)に開催します！2018年次支部総会

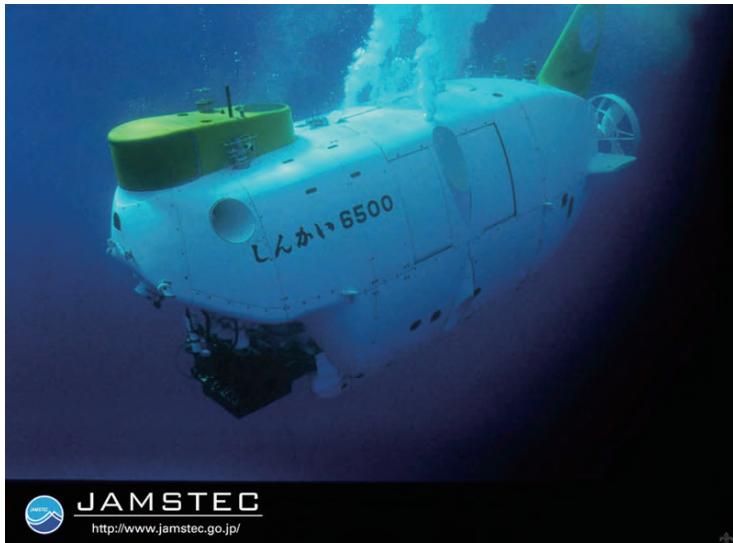
2018年度の年次支部総会は、下記の日程と場所で開催します。詳細は同封のご案内をご覧ください。

- 日 時：5月26日(土) 午前10時30分～午後1時30分（受付開始午前10時00分）
- 場 所：パナソニック（株）佐江戸事業所 南厚生棟

## 「海洋研究開発機構 横須賀本部」と「キリンビール横浜工場」 春の社会見学会を4月24日(火)に開催

春の社会見学会の見学先は、横須賀市にある「海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部」と、横浜市鶴見区の「キリンビール横浜工場」（2016年10月リニューアル）です。JAMSTECは、6,500メートルの深海にまで潜ることができる有人潜水調査船「しんかい6500」等数多くの調査船や探査機を保有し、海底のプレートの動きや地層・地形、深海生物の生態の調査等、海洋に関する学術研究に協力して、海洋科学技術水準の向上を図り、平和と福祉の発展に資することを目的とした組織です。今回は日本の海洋研究の概要を学ぶまたとないチャンスです。

「キリンビール」では、ビールの製造工程を見学後、「一番搾り」の試飲ができますので、勉強だけでなく楽しい歓談の機会になると思います。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。



JAMSTEC  
<http://www.jamstec.go.jp/>

有人潜水調査船「しんかい 6500」  
(写真: JAMSTEC許諾)

◆集合日時：4月24日(火) 午前9時50分

◆集合場所：京浜急行線「追浜」駅 改札口前

◆見学先：①海洋研究開発機構横須賀本部 ②キリンビール横浜工場

◆参加費：2,000円(昼食(松花堂弁当)、写真代等)  
※交通費は自己負担

◆定員：40名(定員になり次第締め切ります)

◆申込方法：FAX又は横浜東・西支部HPからメールで  
※支部名、会員名、同行者名、年齢、  
郵便番号、住所、電話番号、携帯電話番号を必ずご記入ください。

◆申込先：小林 貞幸 FAX: 045-341-3547  
HPメール: [shoaiyokohama@yahoo.co.jp](mailto:shoaiyokohama@yahoo.co.jp)

◆申込締切：4月8日(日)

◆問い合わせ：伊藤 博敏 TEL: 090-4068-3396

◆参加決定連絡：後日、「参加決定通知」でご連絡します。

キリンビール横浜工場  
(写真: キリンビール許諾)



## 笑顔が集まった「新春懇親会」

1月20日（土）、パナソニック（株）佐江戸事業所南厚生棟で開かれた「新春懇親会」は、ご来賓を合わせて300名を超す方々が集いました。まずアトラクションに登場したNPO法人「横浜都筑太鼓」の皆さんによる勇壮な太鼓の響きで新春を寿ぎました。また懇親会は今回から立食ではなく着席で歓談することに変えたため、なつかしい人たちとゆっくり語り合う姿があちらこちらで見受けられました。豪華景品が当たる恒例の「大抽選会」も大変盛り上がり、来年もぜひ元気で参加したいとの声が聞かれました。



当日の写真の一部です。皆さん楽しそうですね。この他にも横浜東・西支部のホームページに多数の写真を掲載しています。(なお出席者名簿はP.4をご覧ください)

## 社会貢献活動「菊名パソコン教室」の報告

横浜市港北区の菊名地区センター主催のパソコン教室が、2月26日（月）～3月1日（木）の4日間、同地区センターにて開催されました。今回は、午前の講座の「エクセル初級」、午後の講座の「ワード初級」それぞれ9名の方が受講され、講師として松愛会会員有志8名が対応しました。受講された全員が目標レベルに到達され、受講生からはパソコンを自己のスキルとして就活に活用したいとの声も聞けて、手ごたえを感じ取り、次回も受講生のスキルアップのお手伝いができると、講師一同、気持ちを新たにしました。次回講座も、「ワード」、「エクセル」で7月の予定です。

(村松 克芳記)



講師の説明にも熱が入る



## 17年で全都道府県のお城を制覇！ 小林佐敏さん 77歳（横浜市緑区）

諸説あるそうですが、日本には北海道から沖縄まで全国に2万5000ほどのお城があるとのこと。

そして全国の古城・名城巡りを退職翌年の2001年から始めて17年間、400カ所以上のお城に行き全都道府県を制覇されたのが小林佐敏さんご夫妻です。

小林さんは理科系で、高校時代は日本史の勉強をしませんでした。もともと歴史好きだったことから、「邪馬台国」や「万葉集」、「奥の細道」など興味のあるテーマを決めて全国を旅し、その地にあるお城を夫婦で訪ね歩こうと思い立ったそうです。

移動手段は車。17年間で25万kmほど走り、多い年で80日間、少ない年でも50日間、累計では1204日間も全国を旅して歩いたそうです。高低差が



お城のファイルを手にする小林さんご夫妻

300mもある山城にも行き、観光地にも足を運ぶことから、歩く距離もかなり長くなります。

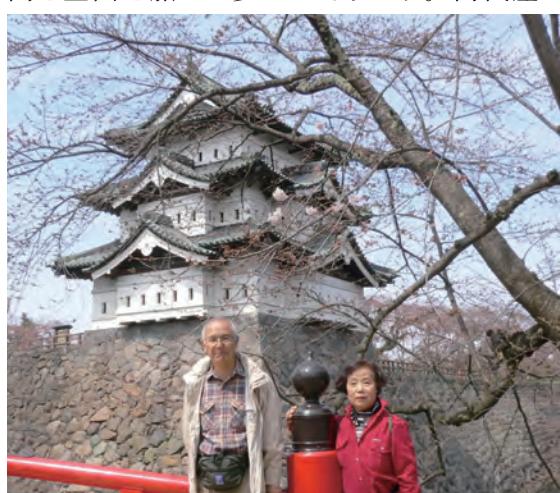
「毎朝、鶴見川土手を7～8km、夫婦で歩いて鍛えています。医者知らずで、いくら歩いても疲れることはあります」と奥様。お城巡りは健康づくりにも役立っているようです。

旅の記録であるファイルは、城の歴史や由来、旅の記録などの資料を小林さんが、写真の選定・整理は奥様が担当して作成、今では40冊近くになっています。

「実家(群馬県)の前が浅場城というお城、高校も昔のお城でした」と語る小林さん。お城とはもともと縁があるのかもしれません。

ちなみに、小林さんが選ぶ日本の城ベスト3は、1位：熊本城、2位：姫路城、3位：彦根城。皆さんのベスト3はいかがでしょうか。

(レポーター・広報委員 間島 輝利)



(左) 名城・弘前城をバックに (2005年)



### 地球環境の健康を目指して 第29回「鶴見川鴨居高水敷」植生保全活動のご案内

鶴見川鴨居高水敷の植生保全活動は、鶴見川の植生を回復し、子どもたちが自然に親しめる環境作りを目指して、神奈川県横浜治水事務所と県民が共同で行う活動で、松愛会では2009年からNPO法人鶴見川流域ネットワーキングと連携して行っています。ぜひ皆様のご協力をお願いします。(写真は昨年秋のもの)

■ 日 時：6月2日(土) 午前10時～11時30分（雨天の場合、翌週順延）  
現地集合 午前9時45分

■ 場 所：JR横浜線鴨居駅から橋を渡った川岸 右手200m先の河川敷

■ 作業内容：外来植物などの刈り取りと河川敷の清掃、川の生き物調査

■ 準 備 物：屋外作業ができる服装（長袖）、軍手、帽子、タオル

■ 申込み先：針谷 俊隆 ※締め切りは5/25(金)

TEL/FAX 042-755-5402 Eメール shoaiyokohama@yahoo.co.jp



### ぶらり会

～今後の予定の詳細については「ぶらり会」で検索してください～

#### 第406回 「市民の森からこども自然公園めぐり」

4月14日(土) 相模鉄道線 三ツ境駅 改札前 午前10時集合

#### 第407回 「引地川フジロード散策」

4月26日(木) 小田急江ノ島線 湘南台駅 改札前地下広場 午前10時集合

#### 第408回 「新緑の相模原公園を訪ねる」

5月12日(土) 小田急線 相模大野駅 改札前 午前10時集合

#### 第409回 「多摩川の土手を歩き羽田空港国際線へ」

5月24日(木) 東急東横線 多摩川駅 改札前 午前10時集合

\* いずれも雨天の場合は中止です。

\* 参加希望の方

当日、指定場所・時間までに集合。

\* 参加費200円。昼食、飲物、雨具等は各自で用意ください。

(世話役) 村田秀夫さん 045-821-0465  
高木達雄さん 045-933-0495

パナソニック松愛会 横浜東・西支部合同  
2018年 新春懇親会 出席者 (敬称略)

あ行	加藤 久光	濵谷 英雄	富田 忠平	本田 靖人
相澤 信雄	金子 憲幸	清水 伝夫	富田 鉄人	本間 清
赤城 伸一	上栗 清信	下田 昌幸	富山 國定	本間 光一
秋山 克夫	神永 博信	白戸 義則	な行	ま行
阿久津 仁	神谷 進	白瀚 貴	内藤 正博	前田 精亮
浅原 隆夫	唐木 治夫	進藤 良明	苗村 明	前田 教生
芦川 久	河合 将雄	新屋 純之輔	長尾 和男	前田 宏
安達 喜雄	川上 寿	菅井 学	中川 政利	槙 一郎
天城 友行	川崎 秀敏	杉本 孝夫	中川 洋一	間島 輝利
雨宮 哲嗣	河原 嘉彦	鈴木 達男	中小路 忠三	増川 広司
荒井 準幸	河村 泰雄	鈴木 俊彦	中越 公秋	増田 進夫
新居 登	簡 敬	鈴木 則友	永田 淳	増渕 隆
安齊 茂	神田 茂	須田 隆治	永田 正勝	増本 輝昭
安齋 暢雄	菊池 祐二	須藤 隆	中塚 富雄	松下 近
飯塚 久典	木嶋 博之	角南 真人	中部 孝治	松本 真一
庵 一雄	北野 利男	須之内 建史	中本 昭夫	丸山 信敏
伊賀 純司	木藤 猛	清野 富男	中山 勇	三浦 研造
五十嵐 守	久保 公平	関根 一光	波江 正明	三間 秀晴
池田 健吉	久保 紀義	た行	奈良 良一郎	南 一成
石井 正明	熊田 幸治	高井 明男	奈良坂 優	三村 進
石河 雅喜	黒沢 俊明	高木 勝則	二階堂 正則	宮下 信次
石澤 命孝	黒田 宜輝	高木 達雄	西沢 章一	村上 芳
石田 昌作	桑江 謙治	鷹取 清司	西田 喜久雄	村瀬 守男
石原 健夫	河野 良雄	高沼 浩	西田 富夫	村田 和弘
伊藤 秀二	小暮 好康	高橋 久志美	西野 斎	村田 秀夫
伊藤 博敏	古塙 功	高橋 憲一	西村 真吾	村田 光正
田舎 豊	越川 明	高橋 聖子	葦澤 洋明	村田 満
犬飼 真一郎	小島 徳雄	高橋 俊治	布川 勝	村松 克芳
井上 俊之	五嶋 一幸	高橋 久夫	野口 彰	室田 俊彦
今岡 正明	後藤 正敏	高橋 等	野崎 肇	望月 敏明
入鹿 健策	小橋 一夫	高見 広光	野々村 英一	森川 貴志
植木 千尋	小林 貞幸	田口 清	は行	森川 隆
上村 哲也	小林 佐敏	武市 晴司	芳賀 嘉之	森末 文憲
梅原 賢二	小林 健	竹内 興二	畠山 勝己	や行
上窪 健正	駒井 秀雄	竹内 忠洋	花崎 良政	八木 卓
江頭 孝征	駒津 勝	竹島 健二	花見 周行	八木 伸
榎本 裕	小松澤 弘安	武田 富雄	羽場 弘明	八鍬 照治
遠藤 和雄	駒村 昌敏	田嶋 健次	浜 道彦	矢田部 英昭
遠藤 誓一	小室 敏秀	立入 靖夫	浜田 博	山本 克美
及川 省司	権藤 徹志	田中 晃二	早川 佳宏	山本 順一
太田 邦雄	さ行	田中 重幸	林 義勝	山本 日出男
大西 俊明	斎藤 永	谷村 幸雄	原口 信昭	山本 満
大野 弘治	斎藤 博	田村 潤	原島 進	横山 徹
大庭 博	榎原 長重	塙田 達樹	原田 修二	吉浦 健一
大藪 輝之	佐久間 元照	築地 三郎	原田 雅之	吉川 孝
岡田 明	桜井 良夫	月村 崇	針谷 俊隆	吉川 友弘
岡田 正	桜田 興宣	続 薫	春木 宏志	吉田 寿子
岡田 幸雄	笹木 秀治	都築 努	東 伸児	吉野 謙治
小川 友通	佐々木 寛隆	堤下 茂	東 輝夫	米澤 講作
荻原 肇	佐々木 幸雄	常田 悟朗	檜山 弘明	わ行
小黒 正男	佐田 吉一	坪根 和文	兵藤 英彦	和田 守政
小野 喜一	佐藤 公紀	露寄 典男	廣永 宏介	渡辺 和彦
織壁 則夫	佐藤 正市	鶴丸 純一郎	福島 好雄	渡辺 譲夫
か行	佐藤 真佐男	土居 茂	福地 美郎	渡邊 正興
総田 司郎	佐野 一郎	藤 英輔	藤川 忠重	
片瀬 好文	澤田 幹雄	道家 英隆	船木 亮一	
堅田 十三生	三野 寛	堂本 耕造	古川 高兄	
片野 毅	直原 佳明	土肥 哲郎	本田 清美	

この他、ご来賓を合わせて300名を超える皆様にご出席いただきました。ありがとうございました。